

Q 少子化対策として婚活イベントを

A 若者による実行委員会で議論していただく



渡辺勝弘議員

問 人口減少の打開策として結婚を望んでいる若者に意見を聞き、婚活パーティーなどを企画しては。

町長 まずは町の復興、元氣活力事業を実施することだが、少子化対策も非常に重要な課題だ。町として婚活にどのよう

問 具体的にはどう進めていくのか。

町長 先ずは少子化対策を総合的に検討する協議会を立ち

上げる。その中の検討結果を踏まえ、若者主体の実行委員会で具体的な事業を決定してもらうことを考えている。

問 後継者媒酌人報奨金制度を復活すべきでは。

問 子育て世代の町に対する満足度をさらにアップさせるために、その世代の人からの情報を把握しては。

保健福祉課長 媒酌人を立てた結婚が非常に減少し、この制度は現在休眠状態である。このことも新たに設置する協議会で検討する。

保健福祉課長 保育所内で支援センターや赤ちゃん訪問などの事業から意見をもらい事業に生かしている。新設する協議会でも意見を聞いていく。



商工会青年部が若者に町イベントをPR(福島市・イオン内)

問 子育てしやすい町であることを町内外の子育て

世代に大いに発信して転入者増に繋げては。

保健福祉課長 新年度に子ども・子育て支援計画を策定することからその公表とガイドブックを新たに作成し、配布する。ま



みんなニコニコ子育て広場(藤田保育所内の子育て支援センター)

た、町のホームページで子育てに関する情報を積極的に配信していく。さらに計画されている交流の場や観月台文化センターなども含めて効果的な事業を進めていく。

Q 光明寺町内会の町道整備の促進を

A 早い時期の事業化に向け検討する

問 道路整備事業の優先順位を決定する条件とは何か。

建設課長 道路整備事業の必要性、③用地確保や住民の協力体制などの熟度、④事業コストなどの整備の効果である。

建設課長 昨年6月に4項目を総合的に

評価し、土木工事の優先順位を判定する整備基準を策定した。その4項目とは、①事故の発生頻度や地形的な危険度などの緊急性、②路面などの道路構造上

問 光明寺字滝ノ下地内を通る町道4078号を町はどの

ように捉えてきているのか。

建設課長 この町道は約500mの沿道に16戸があり、道路幅が狭く、車両のすれ違いが困難で住民が不便を与えていると認識している。

建設課長 500mの沿道に16戸があり、道路幅が狭く、車両のすれ違いが困難で住民が不便を与えていると認識している。

問 なぜ、この町道の整備が進まないのか。

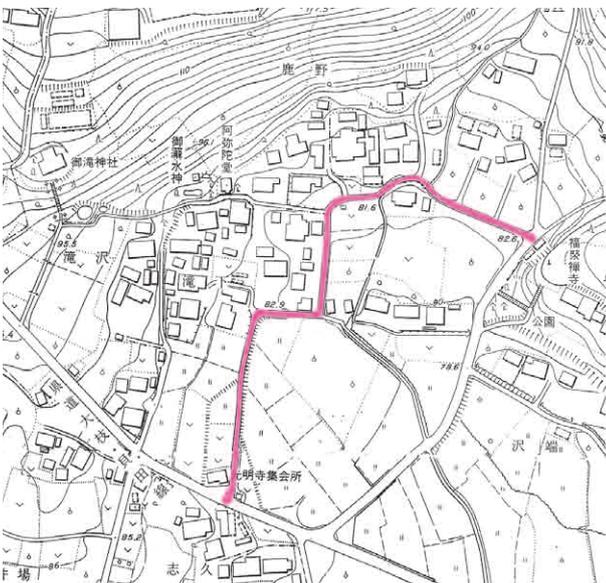
建設課長 この間優先して整備すべき箇所があった。

問 住民は災害などに、不測の事態にに対し常に不安に思っている。この町道は消防防災上から見た場合どう捉えられているのか。

建設課長 住民は災害などに、不測の事態にに対し常に不安に思っている。この町道は消防防災上から見た場合どう捉えられているのか。



渋谷福重議員



町道4078号の位置図(光明寺字滝ノ下地内)



すれ違うのにも一苦労(光明寺字滝ノ下地内)

建設課長 有事の際は住民の協力が不可欠である。常日頃、道路状況を踏まえた防災意識を高めておくことが重要である。

建設課長 有事の際は住民の協力が不可欠である。常日頃、道路状況を踏まえた防災意識を高めておくことが重要である。

町長 この町道の整備費用を試算すると6000万円ぐらいになる。

町長 この町道の整備費用を試算すると6000万円ぐらいになる。

問 以前に2件の火災があり全焼であった。消防車が動けないし消火栓もない状況だ。さらに集落の背後は土石流危険区域

問 以前に2件の火災があり全焼であった。消防車が動けないし消火栓もない状況だ。さらに集落の背後は土石流危険区域

町長 危険度からして非常に高い。現在財源確保のため調査させている。なるべく早い時期に事業化できるように、鋭意検討していく。

町長 危険度からして非常に高い。現在財源確保のため調査させている。なるべく早い時期に事業化できるように、鋭意検討していく。